

## 「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」に対して寄せられた御意見等について

## 【意見の募集について】

1. 募集期間 平成29年12月19日から平成30年1月18日まで
2. 内 容 「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）中間まとめ」への意見の募集
3. 意見数 33件（主な意見等については下記のとおり）

## 【主な意見等】

## 1. 具体的な取組等に関するもの

意見等		考え方
政策目標1 「スポーツを通じた健康長寿の達成」		
1	スポーツを「みる」から「する」方向への誘導が重要。アスリートからスポーツをすることの良さ、面白さ等を教室等でアピールしてもらおうのほうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アスリートと連携を図り、様々なイベント等でアスリートからスポーツの魅力を発信していく。</li> <li>○ オリンピアンやパラリンピアン、ラグビー選手等のアスリートと子供たちが直接交流する機会を提供していく。</li> </ul>
2	大学キャンパスにはスポーツ活性化できる資源が存在する。大学の活用に取り組んでほうか。	
3	スポーツをみる場所としても大学を活用してほうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業や大学等が所有する施設を有効活用できるよう、取組の検討を行っていく。</li> <li>○ また、更なる大学や企業等との連携について検討を進めていく。</li> </ul>
4	大学の公開講座等でスポーツを取り上げているものに焦点を当てることにより、広い世代にスポーツを伝えることができないか。	
5	外部人材を学校部活動のコーチとして雇用し、部活動の顧問の先生の負担を軽減してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育法施行規則の改正により規定された「部活動指導員」について導入に向けた必要な検討を行っていく。</li> </ul>
政策目標2 「スポーツを通じた共生社会の実現」		
6	20代、30代女性の実施率が低いと記載があるが、具体的な取組があまりないので、もっと実施してほしい。	
7	特にスポーツ実施率の低い若年層には「美容効果」や「ファッション性」など価値観やライフスタイルに合わせ、性別・世代に応じたきめ細かい動機付けを政策に盛り込んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女性のスポーツ振興策については、今後の課題として捉え、ライフスタイルや価値観等を踏まえるとともに、地域や関係団体等と連携しながら検討を行っていく。</li> </ul>
8	スポーツ施設に、仮設でも構わないので車いすの人が利用しやすいトイレを増設してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京2020大会の会場については、「TOKYO 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえたバリアフリー化を行っていくこととしており、車いすの利用者が利用しやすいトイレを設置するよう整備を進めている。</li> <li>○ 都立スポーツ施設についても大規模改修にあわせ、車いすの利用者が利用しやすいトイレも含めたバリアフリー化を推進していく。</li> </ul>

政策目標3「スポーツを通じた地域・経済の活性化」		
9	「通勤ウォーキング」や「階段エクササイズ」など通勤時間を活用し、通勤自体を「スポーツ」として捉える「通勤スポーツ」の考え方を普及し、歩く環境の整備をしてほしい。	○ 仕事や家事の最中に行う健康等を目的とした計画的・継続的な身体活動についても、スポーツとして捉え、スポーツ施策を展開していく。
10	働き盛り世代が多く時間を過ごす職場において、「健康経営オフィス」の考えが多くの企業に広がるよう、整備と後押しをしてもらいたい。	○ 従業員が運動を行うことが生産性の向上にもつながることを理解してもらうこと等を目的に「ガイドブック」の配布・周知を行っていく。 ○ また、更なる企業等との連携について検討を進めていく。
11	職場等において、運動会などのスポーツイベントの復活を、東京都として積極的に後押ししてほしい。	○ 従業員のスポーツ活動の推進している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し、その取組を広く紹介していく。 ○ また、更なる企業等との連携について検討を進めていく。
12	(国の計画では) 総合型地域スポーツクラブについて、登録・認証等の制度を構築するとしている。その基準によっては地域スポーツ活動の停滞につながる恐れがあるので、慎重に対応してほしい。	○ 国の動向を踏まえながら、地域スポーツクラブのあり方を検討していく。
13	スポーツ推進委員については、地域における認知度が低い。スポーツ推進委員の活動内容を積極的に情報発信して、都民に還元してもらいたい。	○ スポーツTokyoインフォメーションや、SNS等を活用し、地域で活躍するスポーツ推進委員の紹介を行っていく。
14	トップクラスのアスリートの活躍を身近で観戦することは、スポーツ実施率の向上につながるため、会場に都民を招待してもらいたい。	○ 主催者の協力を得ながら、大会観戦の都民招待を実施していく。

## 2. 記載方法等に関するもの

	意見等	考え方
15	ページ数が多く、事業も多いので、事業が一覧で見られるような工夫をしてみてください。	○ 具体的取組について、年次計画を策定し各年度の取組を記載していく。
16	毎年、各事業はどのようなことを行うのかの計画があるとよい。	
17	職域における取組を推進するためにも、経営者をはじめ、都内の企業で働く従業員にも広報してほしい。	○ 経済団体を通して、積極的に企業等への周知を行っていく。
18	障害者スポーツの政策を調べるのが大変なので、障害者スポーツだけを取り出した別冊をつくってもらいたい。	○ 障害者スポーツ振興について抜き出し、再編集した章を追加していく。
19	世界に誇る首都東京のスポーツ計画であるのだから、もっとスタイリッシュなデザインにってもらいたい。	○ 章ごとに色分けするとともに写真やイラスト等を追加し、都民に分かりやすい計画としていく。

20	外国の人にも東京都の取組を知ってもらうためにも、外国語版を作成してはどうか。	○ 英語に対応した本計画の概要版を作成していく。
21	これまでの計画には音声コードが入っていたので、今回の計画にも音声コードを入れて視覚障害者も計画を読めるようにしてほしい。	○ 各ページに音声コードを追加していく。

### 3. その他

意見等	
22	スポーツ嫌いは個性であり、スポーツが嫌いであっても良い。スポーツ嫌いが解消されるまで待つ姿勢が必要ではないか。
23	新交通ゆりかもめの軌道の上部空間に二段又は一段の空中回廊を設け、遊歩道、自転車道として活用し、公共施設や競技会場等と直接接続してはどうか。
24	都立公園内のスポーツ施設は建設局が所管しているが、スポーツ主管局に一元化した方がスケールメリットや効率的運営に寄与するのではないか。
25	駒沢公園のようなスポーツに特化した公園をもっと造ってほしい。
26	スキー・スケートを児童・生徒のうちに体験させることは重要。スキー教室を中学校だけでなく、小学校、高校でもやってほしい。
27	高齢者が体を動かせるように、温泉施設に歩くスペースを設けてはどうか。
28	性的マイノリティに言及されている点に先進性が感じられる。大変重要なことなので頑張って取り組んでほしい。
29	スポーツは純粋なものであり高潔なものである。スポーツを商業化することは問題である。
30	東京2020大会のメダリストパレードは、銀座だけでなく東京都全域で実施してほしい。
31	東京マラソンのように、東京の魅力を伝えことができ、地域への経済波及効果が期待できるようなイベントを、もっと実施してほしい。
32	パブリックビューイングのような場を職場や地域において設けてほしい。
33	東京には多くのスポーツチームやアスリートが存在するので、TVや新聞等を使ってファンを増やしてほしい。